※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編言語文化　（東京書籍）						
副教材等	漢字力トレーニング（増進堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年次では、主に古典について学習します。
・授業では、課題に対して、自ら考えるとともに、周りの人と協働で考える活動を行います。
・主に古典の文章を「読む能力」をしっかり向上させるよう、授業内容を身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業はこちらが用意したプリントを完成させるという様式で行います。板書を書き写すだけではなく、授業のポイントを理解し、自らが考えたことを自らの意見として書くということも求められます。自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをメモし、それらも含めて教材をより深く理解するよう心がけてください。
・2 学期の後半から 3 学期にかけて、自分が読んで共感した本の内容を紹介する「読書プレゼンテーション」を行います。日ごろから読書することを心掛けておいてください。

2　学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成をめざす。
（１）古文・漢文を読解するためのスキルを身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深められる。
（２）古文・漢文の学習を通して、人の気持ちに寄り添い、共感し、豊かに想像できる力を伸ばす。
（３）日本と古代中国の言語文化を深く学び、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
（４）読書の楽しみを理解し、活字から様々な情報が得られるという実感を持たせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史、文化の理解や古文、漢文の言葉の特徴やきまり、漢字や語彙などの知識を正しく身に付けている。	自らの学習活動において習得した知識と技能をもとに、場面場面で人が置かれている状況や気持ちや理解し、最適な判断と表現ができる	お互いを尊重し伝え合う力を高めることができ、古文、漢文の文化に対する関心を深め、国語力を育成、発展させている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典の文章をすらすらと読む 【古典】 教材:「古文に親しむ」 ワークシート	ａ：歴史的仮名遣いや漢字の読み方、発音が正確にできている。 ｂ：〔読〕文章の主題を理解している。登場人物の心理と行動の原因を考える。 ｃ：課題を自分の言葉で表現できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト	提出課題 振り返り課題
	古典の文章をよく理解する ［教材］ 伊勢物語	a:文章の内容を正しく理解し、筋道を的確に捉えようとしている。語句や文法の意味を正しく理解している。 b:〔読〕登場人物の違いや考え、情景、心情の理解など、文章の筋道を的確に捉えている。 c: 課題を自分の言葉で表現できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト	提出課題 振り返り課題
2学期	和歌を鑑賞する ［教材］伊勢物語、折々のうた	a:和歌の歴史、技巧 b:[読]:歌の内容を正しく理解する。鑑賞文を読んで、内容を正しく理解する。 c:課題を自分の言葉で表現できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト	提出課題 振り返り課題
	漢文を読む ［教材］訓読の基本	a:漢文の基礎知識の習得 b[読]:故事成語の意味を理解する c:漢文の朗読	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト	提出課題 振り返り課題
3学期	小説を読む ［教材］羅生門	a:文章の内容を正しく理解し、筋道を的確に捉えようとしている。語句や文法の意味を正しく理解している。作品の対象の時代を理解する。 b:〔読〕登場人物の考え、情景、心情の理解など、文章の筋道を的確に捉えている。 c: 課題を自分の言葉で表現できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト	提出課題 振り返り課題
	読書プレゼンテーション ［教材］各自	a: b[　]: c:自分が読んだ本をマニュアルに沿って紹介する。自分の言葉で表現できる。			提出課題(読書ノート、ポスター、発表原稿)
	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			

※令和４年度以降入学生用
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　16　）時間
・書くこと　…　（　16　）時間
・読むこと　…　（　16　）時間